

# MULTISTOMP

## MS-60B for Bass

### オペレーションマニュアル

このたびは、**ZOOM MS-60B** (以下 **MS-60B** と呼びます) をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

**MS-60B** の機能を十分に理解し、末永くご愛用いただくためにも、このマニュアルをよくお読みくださるようお願い致します。

なお、このマニュアルはお手元に保存し、必要に応じてご覧ください。

※ **MS-60B** のエフェクトパラメーターリストは、製品には付属しておりませんので、ダウンロードしてご利用ください。→ <http://www.zoom.co.jp/downloads/>

**MS-60B** は、操作をやめてから10時間経過すると自動的に電源が切れます。

常に電源をONにしたい場合は、P19の「4 パワーマネジメント機能を設定するには」を参考に、設定をOFFにしてください。

## 目次

安全上の注意／使用上の注意……………	3	タップテンポ機能を使う……………	16
各部の名称……………	4	各種設定を変更する……………	18
電源を入れる……………	6	ファームウェアアップデートの方法について……………	23
エフェクトを調節する……………	8	エフェクトタイプ一覧……………	24
パッチメモリーを選択／保存する……………	10	<b>MS-60B</b> を工場出荷時の設定に戻す ……………	29
パッチメモリーをフットスイッチで切り替える ……	11	故障かな？と思う前に……………	30
2つ以上のエフェクトを使う ……………	12	仕 様……………	31
チューナーを使う……………	14		

## 用語について

### パッチメモリー

エフェクトのON/OFFやパラメーターの設定値を記憶したものを“パッチメモリー”と呼びます。**MS-60B**では、最大50個のパッチメモリーを保存できます。

### エフェクトユニット

**MS-60B**は、1～4個のエフェクトを同時に使用することができ、その数を自由に変更することができます。これらの単体エフェクトを“エフェクトユニット”と呼びます。

## 著作権について

文中の製品名、登録商標、会社名は、それぞれの会社に帰属します。

\*文中のすべての商標および登録商標は、それらの識別のみを目的として記載されており、各所有者の著作権を侵害する意図はありません。

**安全上の注意**

このオペレーションマニュアルでは、誤った取り扱いによる事故を未然に防ぐための注意事項を、マークを付けて表示しています。マークの意味は次の通りです。



「死亡や重症を負うおそれがある内容」です。



「傷害を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

図記号の例



「実行しなければならない(強制)内容」です。



「してはいけない(禁止)内容」です。



**警告**

**ACアダプターによる駆動**

- ① ACアダプターは、必ずZOOM AD-16を使用する。
- ② コンセントや配線器具の定格を超える使い方や交流100V以外では使用しない。

**乾電池による駆動**

- ① 市販の1.5V単三乾電池(アルカリ電池または、ニッケル水素蓄電池)×2を使用する。
- ② 使用するときは、必ず電池カバーを閉める。

**改造について**

- ② ケースの開封や改造を加えない。



**注意**

**製品の取り扱いについて**

- ① 落としたり、ぶつけたり、無理な力を加えない。
- ② 異物や液体を入れないように注意する。

**使用環境について**

- ① 温度が極端に高いところや低いところでは使わない。
- ② 暖房機やコンロなど熱源の近くでは使わない。
- ③ 湿度が極端に高いところや水滴のかかるところでは使わない。
- ④ 振動の多いところでは使わない。
- ⑤ 砂やほこりの多いところでは使わない。

**ACアダプターの取り扱いについて**

- ① 電源プラグをコンセントから抜くときは、必ずプラグを持って抜く。

**乾電池の取り扱いについて**

- ① 電池の+、-極を正しく装着する。
- ② 指定の電池を使う。  
新しい電池と古い電池、銘柄や種類の違う電池を同時に使用しない。
- ③ 長期間使用しないときは、乾電池を取り外す。  
液漏れが発生したときは、電池ケース内や電池端子に付いた液をよく拭き取る。

**接続ケーブルと入出力端子について**

- ① ケーブルを接続するときは、各機器の電源スイッチを必ずOFFにしてから接続する。

**音量について**

- ② 大音量で長時間使用しない。

**使用上の注意****お手入れについて**

パネルが汚れたときは、柔らかい布で乾拭きしてください。それでも汚れが残らない場合は、濡らせた布をよくしぼって拭いてください。

**故障について**

故障したり異常が発生した場合は、すぐにACアダプターを抜いて電源を切り、他の接続ケーブル類もはずしてください。[製品の型番][製造番号][故障、異常の具体的な症状][お客様のお名前、ご住所、お電話番号]をお買い上げの販売店またはズームサービスまで連絡してください。

**DC9V ACアダプター端子**

電源にコンセントを使用する場合、専用アダプター (AD-16) で接続します。(→P6)

**出力端子**

アンプや他のエフェクターに接続します。  
モノラルの場合は、MONOに接続します。

**ON/OFF インジケーター**

ディスプレイに表示されているエフェクトがONのときに点灯、OFFのときに消灯します。(→P8)

**カーソルキー**

(→P5)

**USB端子**

パソコンと接続し、ファームウェアのアップデートを行います。(→P23)

**入力端子**

ベースギターを接続します。

**ディスプレイ**

現在選択されているエフェクトや各種画面を表示します。(→P7)

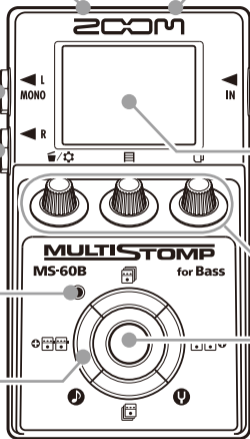
**パラメーターノブ**

(→P5)

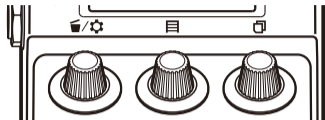
**フットスイッチ**

ディスプレイに表示されているエフェクトのON/OFFを切り替えます。(→P8)

長押し(1秒間)で、チューナーまたはタップテンポに切り替わります。(→P14、16)



## ■ パラメーターノブ



(左から)

### パラメーターノブ1 [🗑️/⚙️]

左右に回してパラメーターを調節します。

押すと[MENU]が表示され、エフェクトユニットの削除や並び替え、各種設定ができます。(→P12、18)

また、ファームウェアバージョンを確認することができます。(→P22)

### パラメーターノブ2 [📄]

左右に回してパラメーターを調節します。

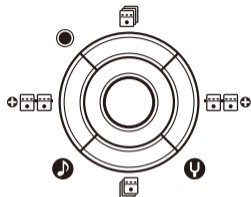
押すと[MEMORY]が表示され、パッチメモリーの選択や保存、フットスイッチによるパッチメモリーの切り替えができます。(→P10、11)

### パラメーターノブ3 [📄]

左右に回してパラメーターを調節します。

押すと、パラメーターのページを変更できます。(→P9)

## ■ カーソルキー



### カーソルキー (上、下) [📄 / 📄]

エフェクトタイプを変更します。

長押し(1秒間)でエフェクトの分類を選択することができます。(→P8)

### カーソルキー (左、右) [⊕📄📄 / 📄📄⊕]

ディスプレイに表示されているエフェクトから左右のエフェクトへ移動します。

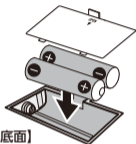
長押し(1秒間)で、ディスプレイに表示されているエフェクトの左または右隣に、新しいエフェクトを追加します。(→P12)

## 1 電源を入れるには

1. アンプの音量を最小にする。
2. 次のように電源を入れる。

## &lt;電池を使用する場合&gt;

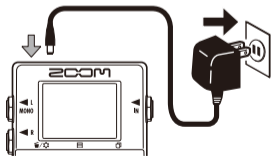
底面のフタを開けて、電池ボックスに電池を入れる。



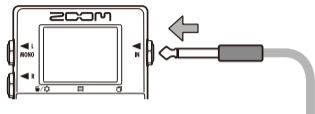
【本体底面】

## &lt;ACアダプターを使用する場合&gt;

専用アダプター (AD-16) を接続する。



3. 入力端子にケーブルを接続する。



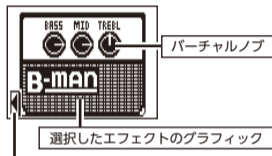
## HINT

- 電源が電池のときは、入力端子にケーブルを接続するとONになります。

4. アンプと接続し、アンプの電源を入れて、音量を上げる。

## 2 ディスプレイ情報

### ■ ホーム画面:現在のエフェクトを表示



この先にエフェクトがあることを示す

#### HINT

- パーチャルノブは現在のパラメーター値を表示します。

### ■ エディット画面:編集中のパラメーターを表示



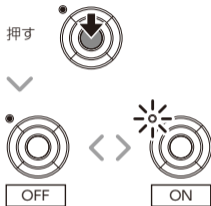
#### HINT

- 編集可能なパラメーターが4つ以上ある場合、ページタブが複数表示されます。

電源を入れる

ホーム画面が表示されていることを確認する。

## 1 エフェクトのONとOFFを切り替えるには



### NOTE

- ON/OFFインジケーターが点灯している場合、ディスプレイに表示されているエフェクトがONになります。
- ON/OFFインジケーターが消灯している場合、ディスプレイに表示されているエフェクトがOFFになります。

## 2 エフェクトタイプを選択するには

いずれかを押す



### HINT

- 長押しすると、エフェクトの分類を選択することができます。「エフェクトを追加するには」の手順2を参照してください。(→P12)

## 3 パラメーターを調節するには



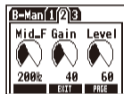


## 4 ページを変更するには

押す



次のページが開く



## エフェクトの処理量制限について


**MS-60B** は4つのエフェクトを自由に組み合わせることができますが、大きな処理量を必要とするエフェクトタイプ(アンプモデルなど)を組み合わせると、処理の限界を超えることがあります。その場合、“DSP Full!”と表示され、エフェクトがバイパス状態になります。いずれかのエフェクトタイプを変えるか“THRU”を選択することにより、この状態を回避できます。



### NOTE

- 各エフェクトはON/OFFに関係なく同じ処理量を必要とします。

### HINT

-  を1秒間長押しすることで、エフェクト処理を行わない“THRU”にジャンプすることができます。

ホーム画面が表示されていることを確認する。

## 1 パッチメモリーを選択するには

**MS-60B** は、工場出荷時にはオートセーブ機能が有効になっているため、パラメーター調節後、設定が自動的に保存されます。

1. [MEMORY]を表示する。



2. パッチメモリーを選択する。

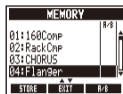


## 2 名前をつけて保存するには

1. [MEMORY]を表示する。



2. 名前をつけて保存するパッチメモリーを選択する。



3. 名前を変更し、保存先を選択する。

- カーソル移動: 回す
- 文字の変更: 回す
- 文字/記号の種類の変更: 押す
- 保存先の変更: 回す



4. 保存を実行する。



ホーム画面が表示されていることを確認する。

## 1 パッチメモリーを切り替える順番を登録／削除するには

1. [MEMORY]を表示する。




2. フットスイッチに登録／削除するパッチメモリーを選択する。



3. 登録／削除する。



### HINT

-  を長押しすることで、すべての登録を削除することができます。

## 2 パッチメモリーを登録した順にフットスイッチで切り替えるには

1. [MEMORY]を表示する。

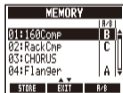


2. パッチメモリーを切り替える。



### HINT

- 右のような場合、フットスイッチを踏むたびに、アルファベットの順に  
[04:Flanger]  
[01:160Comp]  
[02:RackCmp]  
[04:Flanger]  
[01:160Comp] ...  
のように切り替わります。



パッチメモリーをフットスイッチで切り替える

ホーム画面が表示されていることを確認する。

## 1 エフェクトを追加するには

1. [ADD EFFECT UNIT]を表示する。

1秒間

いずれかを長押し



2. エフェクトの分類を選択する。

いずれかを押し



押し



### HINT

- [EXIT]を選択すると、エフェクトを追加せずにホーム画面に戻ります。

## 2 追加したエフェクトを削除するには

1. [MENU]を表示する。

押し

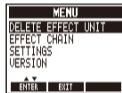


2. [DELETE EFFECT UNIT]を選択する。

回す



押し

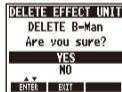


3. [YES]を選択する。

回す



押し



### 3 エフェクトの表示をスクロールするには

複数のエフェクトを追加しているときにスクロールしてエフェクトの表示を切り替えます。

いずれかを  
押す



右から数えて何番目の  
エフェクトかを示す



この先にあるエフェクトの数を示す

### 4 エフェクトの並び順を変更するには

1. [MENU]を表示する。

押す



2. [EFFECT CHAIN]を選択する。

回す



押す



3. 移動するエフェクトを選択し、持ち上げる。

回す



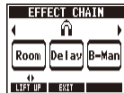
(選択する)

▽

押す



(持ち上げる)



#### HINT

- OFFのエフェクトはグレイアウト表示されます。

4. 移動先を選択し、降ろす。

回す



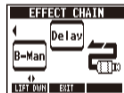
(選択する)

▽

押す



(降ろす)

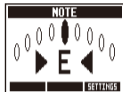


5. 終了する。

押す



## 1 チューナーを有効にするには

1秒間  
長押し

## NOTE

- フットスイッチを長押ししたときの機能をタップテンポにするには、設定を変更する必要があります。(→P18)

## 2 チューナーを終了するには

押す



## 3 チューナーの基準ピッチを変更するには

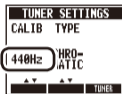
チューナー画面が表示されていることを確認する。

押す



✓

回す



## 4 チューナータイプを変更するには

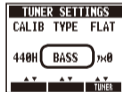
チューナー画面が表示されていることを確認する。

押す



✓

回す



## CHROMATIC

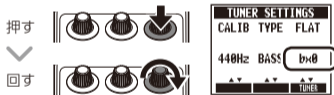
最寄りの音名(半音単位)と、その音名からどの程度ずれているかを表示します。

## BASS

最寄りの弦番号を表示し、本来合わせるべきピッチからどの程度ずれているかを表示します。

### 5 フラットチューニングを使用するには

チューナー画面が表示されていることを確認する。



### NOTE

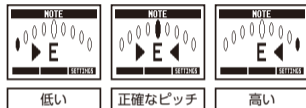
- チューナータイプが“CHROMATIC”のときは、フラットチューニングはできません。

### 6 ベースギターをチューニングするには

チューニングしたい弦を開放で弾き、ピッチを調節する。

#### ■ CHROMATICチューナー

最寄りの音名とピッチのずれが表示されます。



#### ■ BASSチューナー

最寄りの弦番号とピッチのずれが表示されます。



ディレイや一部のモジュレーション/フィルターエフェクトでは、テンポの同期が可能です。同期させるには、あらかじめ同期が可能なエフェクトを選択し、“TIME”や“RATE”など、同期に対応したパラメーターを“♪”や“♪”の音符マークに設定しておきます。(→P8, 24)

テンポは、フットスイッチまたは手動でタップして設定します。

## 1 フットスイッチでタップテンポを設定するには

### NOTE

- 工場出荷時の設定では、フットスイッチを長押しするとチューナーが起動します。フットスイッチでタップテンポを設定するには、フットスイッチを長押ししたときの機能をタップテンポに変更する必要があります。(→P18)

### 1. タップテンポの設定画面を表示する。

1秒間  
長押し



### 2. 目的のテンポでフットスイッチを2回以上踏む。



ON/OFFインジケーターがテンポに合わせて点滅する。

### 3. 設定を終了する。

1秒間  
長押し



### NOTE

- エフェクトがONの状態でもフットスイッチを踏むと、ON/OFFインジケーターが消灯し、エフェクトは1秒間OFFの状態になります。



## 2 手でタップテンポを設定するには

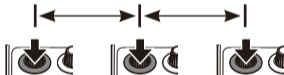
1. ホーム画面で、テンポ同期対応のエフェクトを選択する。(→P8、24)
2. パラメーターのエディット画面を表示する。

押す



3. 目的のテンポで2回以上押す。

押す



ON/OFFインジケータが  
テンポに合わせて点滅する。



### NOTE

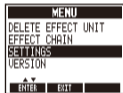
- テンポは、パッチメモリーごとに保存されます。

## 1 各種設定を変更するには

1. [MENU]を表示する。



2. [SETTINGS]を選択する。



## NOTE

- ここで行う設定は、すべてのパッチメモリーで共有されます。

## 2 フットスイッチを長押ししたときの機能を設定するには

フットスイッチを1秒間踏み続けたときの機能(チューナーまたはタップテンポ)を選択します。

1. [SETTINGS]で[HOLD FOR TUNER/TAP]を選択する。



2. フットスイッチを長押ししたときの機能を設定する。



## HINT

- TUNER: チューナーを起動します。(工場出荷時)
- TAP TEMPO: タップテンポを起動します。

### 3 チューナーモードを設定するには

1. [SETTINGS]で[BYPASS/MUTE TUNER]を選択する。



2. チューナーモードを設定する。



#### HINT

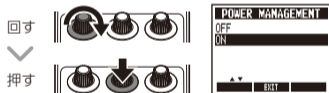
- BYPASS:チューナー使用時にパイパス状態になります。
- MUTE:チューナー使用時に出力をミュートします。

### 4 パワーマネジメント機能を設定するには

1. [SETTINGS]で[POWER MANAGEMENT]を選択する。



2. パワーマネジメント機能を設定する。



#### HINT

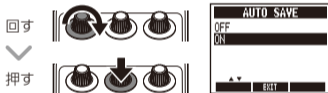
- ON:パワーマネジメント機能が有効です。操作をやめてから10時間経過すると自動的に電源が切れます。
- OFF:パワーマネジメント機能を無効にします。

## 5 オートセーブ機能を設定するには

1. [SETTINGS]で[AUTO SAVE]を選択する。



2. オートセーブ機能を設定する。



## HINT

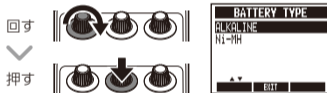
- ON:パッチメモリーの変更は自動的に保存されます。
- OFF:保存操作を行うまで、パッチメモリーの変更は保存されません。(→P10)

## 6 電池の種類を選択するには

1. [SETTINGS]で[BATTERY TYPE]を選択する。



2. 電池の種類を選択する。



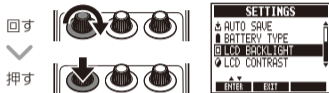
## HINT

- 電池残量は[MENU]で確認できます。
- 電池交換時期は、"Low Battery!"と表示されたときです。

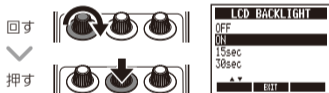


## 7 バックライトが暗くなるまでの時間を設定するには

1. [SETTINGS]で[LCD BACKLIGHT]を選択する。



2. バックライトが暗くなるまでの時間を選択する。

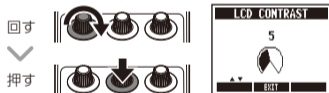


## 8 ディスプレイのコントラストを調節するには

1. [SETTINGS]で[LCD CONTRAST]を選択する。



2. ディスプレイのコントラストを調節する。



## 9 ファームウェアバージョンを表示するには

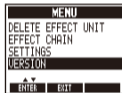
1. [MENU]を表示する。



2. [VERSION]を選択する。



ファームウェアバージョン  
が表示される。

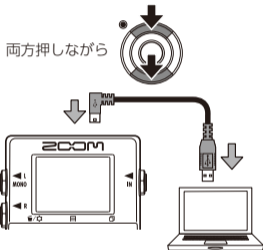


### HINT

- ZOOMのWEBサイト (<http://www.zoom.co.jp>)  
で最新のファームウェアを確認してください。

## 1 ファームウェアをアップデートするには

1. 上下キーを両方押しながら、USBケーブルでUSB端子とパソコンを接続する。



✓  
ファームウェアアップデート画面が表示される。



2. パソコンでファームウェアアップデートアプリケーションを起動し、アップデートを実行する。

### NOTE

- ファームウェアアップデート中はUSBケーブルを抜かないでください。

### HINT

- アプリケーションの操作については、ZOOMのWEBサイト (<http://www.zoom.co.jp>)を参照してください。

3. ファームウェアアップデートの完了を確認する。

ファームウェアアップデートが完了すると**MS-60B**の画面に“Complete!”と表示される。



USB ケーブルを抜く。

### HINT

- ファームウェアのアップデートにより、保存済みのパッチメモリーが消去されることはありません。

カテゴリ	エフェクトタイプ	説明	テンポ同期
DYN/ FLTR	D Comp	MXR Dyna Comp風のコンプレッサーです。	
	M Comp	自然なかかり具合のコンプレッサーです。	
	OptComp	APHEX Punch FACTORY風のコンプレッサーです。	
	160 Comp	dbx 160A風のコンプレッサーです。	
	Limiter	入力信号が一定のレベルを超えたときに圧縮するリミッターです。	
	SlowATTCK	いわゆるバイオリン奏法のように、1音1音の立ち上がりをゆるやかにするエフェクトです。	
	ZNR	音色を損なわずに無演奏時のノイズを抑えるノイズリダクションです。	
	LineSel	LineSelに入ってくる音を、OUTPUTに直接送る経路(OFF時)か、次につながるエフェクターに送る経路(ON時)のどちらかに切り替えます。	

カテゴリ	エフェクトタイプ	説明	テンポ同期
DYN/ FLTR	Ba GEQ	ベースの帯域に適した7バンドのグラフィックイコライザーです。	
	Ba PEQ	ベースの帯域に適した2バンドのパラメトリックイコライザーです。	
	Splitter	信号を2つの帯域(ハイ/ロー)に分割し、ミックスバランスを自由に調節するエフェクトです。	
	Bottom B	低音と高音を際立たせます。	
	Exciter	BBEソニックマキシマイザー風のエキサイターです。	
	BaAutoWah	原音のミックスレベルが調節できるベース用オートワウです。	
	Z Tron	Q-TronのLPモード風のエンベロープフィルターです。	
	M-Filter	幅広い設定が可能でMoog MF-101 Low Pass Filter風のエンベロープフィルターです。	



カテゴリ	エフェクトタイプ	説明	テンポ同期
DYN/ FLTR	A-Filter	エンベロープの動きが急峻なレゾナンスフィルターです。	
	Ba Cry	ベースの帯域に適したトーキングモジュレーターです。	
	SeqFLTR	Z.Vex Seek Wah風のシーケンズフィルターです。	♪

カテゴリ	エフェクトタイプ	説明	テンポ同期
OD/ DIST	Ba Boost	ウォームでコシのあるXotic EP Boosterのモデリングです。	
	Bass OD	BOSSのベース用オーバードライブODB-3のモデリングです。	
	Bass Muff	Electro-Harmonix Bass Big Muffのモデリングです。	
	Ba Dist 1	原音と歪みの音量バランスを調節することができるパラメーターを追加したBOSS DS-1のモデリングです。	
	Ba Metal	原音と歪みの音量バランスを調節することができるパラメーターを追加したBOSS Metal Zoneのモデリングです。	
	BassDrive	多くのベーシストに支持され続けているSansAmp BASS DRIVER DIのモデリングです。	
	D.I Plus	クリーンチャンネルとディストーションチャンネルを持った、MXR Bass D.I.+のモデリングです。	

カテゴリ	エフェクトタイプ	説明	テンポ同期
OD/ DIST	Bass BB	チューブらしい、太くコシのある音のXotic Bass BB Preampのモデリングです。	
	DI5	AVALON DESIGN U5風のプリアンプです。	
	Bass Pre	中域にセミパラメトリックイコライザーを搭載したプリアンプです。	
	AC Bs Pre	グラフィックイコライザーを搭載したプリアンプです。	

カテゴリ	エフェクトタイプ	説明	テンポ同期
AMP	SVT	ロックベースの定番中の定番、Ampeg SVTのモデリングです。	
	B-Man	Fender BASSMAN 100のモデリングです。	
	HRT3500	アルミコーンで有名なHartke HA3500のモデリングです。	
	acoustic	粘りのあるミッドレンジが独特のacoustic 360のモデリングです。	
	Ag Amp	パワーのあるサウンドで有名なAguilar DB 750のモデリングです。	
	Mark B	イタリア発のMarkbass Little Mark IIIのモデリングです。	

カテゴリ	エフェクトタイプ	説明	テンポ同期
MOD/ SFX	Tremolo	音量を周期的に上下させるエフェクトです。	♪
	Phaser	音にシュワシュワした揺らぎを加えるエフェクトです。	♪
	Ba Chorus	エフェクト音の低域をカットできるベース用コーラスです。	
	Ba Detune	わずかにピッチシフトさせたエフェクト音と原音をミックスさせた変調感の少ないベース用コーラスです。	
	Ba Ensembl	立体的な動きが特徴のベース用コーラスアンサンブルです。	
	BaFlanger	エフェクト音の低域をカットできるパラメーターを追加したADA Flangerのようなフランジャーです。	♪
	Ba Octave	原音に1オクターブ下の音を加えるエフェクトです。	
	PitchSHFT	ピッチを上下にシフトさせるエフェクトです。	

カテゴリ	エフェクトタイプ	説明	テンポ同期
MOD/ SFX	Ba Pitch	ベースの帯域に適した単音弾き専用のピッチシフターです。	
	Ba Synth	入力信号のピッチを検出して発音するモノフォニック(単音弾き)ベースシンセサイザーです。	
	StdSyn	ZOOM標準のベースシンセサウンドです。	
	SynTlk	母音をしゃべっているような、トーキングモジュレーター風のシンセサウンドが得られるエフェクトです。	
	Z-Syn	アナログシンセのような太さのベースシンセサウンドです。	
	Defret	どんなベースでも、フレットレスベース風の音色に変身させるエフェクトです。	

カテゴリ	エフェクトタイプ	説明	テンポ同期
DLY/REV	Delay	最長4000msのロングディレイに対応したディレイです。	♪
	StompDly	ストップ型ディレイのようにフィードバックをあげたとき発振させることができるディレイです。	♪
	ModDelay2	深さが調節できるモジュレーションディレイです。	♪
	HD Hall	密度の高いホール・リバーブです。	
	Room	部屋の残響をシミュレートしたリバーブです。	
	Plate	プレートリバーブのシミュレーションです。	
	ModReverb	揺らぎのある残響を得られるリバーブです。	
	SlapBack	繰り返し残響効果を得られるリバーブです。	♪

## 1 オールイニシャライズ機能を実行するには

オールイニシャライズ機能を使うと、工場出荷時の設定に戻ります。

### NOTE

- オールイニシャライズを実行すると、パッチメモリーを含むすべての設定が工場出荷時の設定に置き換えられます。  
この操作は慎重に行ってください。

### 1. 押しながら、電源を入れる。



オールイニシャライズ画面が表示される。



### 2. 実行する場合はフットスイッチを押す。

押す



## 電源が入らない

---

- ・ 電池駆動時は、入力端子にケーブルを接続する。

## 音が出ない、非常に小さい

---

- ・ 接続を確認する。(→P6)
- ・ 各エフェクトのレベルを調節する。(→P8)
- ・ 本機がミュート状態になっていないことを確認する。(→P19)

## ノイズが多い

---

- ・ シールドケーブルが正常であることを確認する。
- ・ ZOOM純正のACアダプターを使用する。(→P6)

## エフェクトがかからない

---

- ・ エフェクトの処理量が制限を超えている場合、エフェクトグラフィックの上に“DSP Full!”と表示される。“DSP Full!”と表示されたエフェクトはバイパス状態になる。(→P9)

## 電池の消耗が早い

---

- ・ マンガン電池を使用していないか確認する。連続使用可能時間は、アルカリ電池で約7時間。
- ・ 電池の設定を確認する。(→P6)  
電池の残量表示をより正確に行うには、使用している電池に設定を合わせる必要がある。(→P20)
- ・ 電池の特性上、気温が低い場所で使用すると消耗が早くなる。

エフェクトタイプ	58タイプ
最大同時使用エフェクト	4
パッチメモリーエリア	50
サンプリング周波数	44.1kHz
A/D変換	24ビット128倍オーバーサンプリング
D/A変換	24ビット128倍オーバーサンプリング
信号処理	32ビット浮動小数+32ビット固定小数
周波数特性	20Hz ~ 20kHz (+1dB/-3dB) (10kΩ負荷時)
ディスプレイ	LCD
入力	標準モノラルフォンジャック 定格入力レベル: -20dBm、入力インピーダンス: 1MΩ
出力	標準モノラルフォンジャック x 2 最大出力レベル: ライン +5dBm (出力負荷インピーダンス10kΩ以上時)
電源	ACアダプター DC9V センターマイナス、500mA (ZOOM AD-16) 電池 単三乾電池 2本 連続駆動時間 約7時間(アルカリ電池使用時) USB
外形寸法	130.3mm(D) x 77.5mm(W) x 58.5mm(H)
USB	ファームウェアアップデート
重量	350g

・0dBm=0.775Vrms

**zoom**®

**株式会社ズーム**

〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台 4-4-3

<http://www.zoom.co.jp>

Z2I-1611-02